

二種混合予防接種 実施医療機関



※接種は、病院・医院などの診療時間内となりますので、事前に医療機関へ電話などで確認をしてください。

※下記以外の医療機関で接種を希望する場合は、事前手続きが必要な場合もありますので、保健センターにご連絡ください。

【館林市内】

(令和7年4月)

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
うえの医院	72-3330	新橋病院	75-3011	はまだクリニック	80-1100
小曽根整形外科	72-7707	高橋クリニック	75-7772	堀越医院	73-4151
神尾内科医院	75-1288	たけい小児科	76-2525	真愛ウィメンズクリニック (旧真由医院)	72-1630
公立館林厚生病院	72-3140	多々良診療所	72-3060	最上胃腸科外科	74-3763
こやなぎ小児科	80-2220	館林記念病院	72-3155	横田医院	72-0255
こが内科楡	73-7587	長谷川クリニック	80-3311	吉田内科クリニック	70-7117
澤田皮膚外科	70-7703	ハートクリニック	71-8810		

【邑楽郡内】

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
いたくら内科	70-4080	阿部医院	62-5428	三浦医院	62-2917
井上整形外科医院	82-1131	新井内科クリニック	20-1220	湯沢医院	62-2209
ふじの木整形	91-4070	小児科おぎわら	61-1133	加藤医院	89-1031
明和赤ちゃんこども	84-1166	たなか医院	62-2881	小林内科医院	88-8278
小西医院	86-2261	蜂谷病院	63-0888	寺内医院	88-1511
千代田医院	86-6080	富士クリニック	20-1971		

【二種混合予防接種で予防する病気の特徴】

ジフテリア: ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。ジフテリアは感染しても10%程度の人に症状が出るだけで、残りの人は症状が出ない保菌者となり、その人を通じて感染することもあります。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などで、偽膜と呼ばれる膜がのどにできて窒息死することもあります。発病2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあるため注意が必要です。

破傷風: 土の中にいる菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉の強直性けいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状で気づき、やがて全身の強直性けいれんを起こし、治療が遅れると死に至ることもある病気です。患者の半数は本人や周りの人では気が付かない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいるため、感染する機会が常にあります。

発生数が少なくなったとはいえ、いずれも重症な合併症や日常生活に支障をきたすような後遺症を残したり、死に至ることもある病気です。これらの病気にかからないよう、予防接種を受けましょう。

【副反応について】

注射部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応が主です。なお、硬結は少しずつ小さくなりますが、1～2週間残存することがあります。また、全身症状として、発熱や頭痛が見られることがありますが、一過性で2～3日中には消失します。